

埼玉県が発行する 「サステナビリティボンド」への投資について

大東京信用組合（理事長 内田通郎、以下「当組合」）は、埼玉県が発行する第2回公募公債（サステナビリティボンド10年）への投資を決定いたしましたので、お知らせいたします（本債券発行日 2023年8月29日）。

「サステナビリティボンド」とは、調達資金の使途が①環境改善効果があること（グリーン性）および、②社会的課題の解決に資するものであること（ソーシャル性）の双方を有する債券です。

本債券による調達資金は、災害・危機に強い埼玉の構築（治水・治山対策の推進、危機管理・防災体制の再構築、大地震に備えたまちづくり）、豊かな自然と共生する社会の実現（みどりの保全と創出）、儲かる農林業の推進（林業の生産性向上と県産木材の利用拡大）、県民の暮らしの安全確保（交通安全対策の推進）、介護・医療体制の充実（地域で高齢者が安心して暮らせる社会づくり）、子育てに希望が持てる社会の実現（子育て支援の充実、児童虐待防止・社会的養育の支援）、未来を創る子供たちの育成（多様なニーズに対応した教育の推進、質の高い学校教育の推進）、誰もが活躍し共に生きる社会の実現（障害者の自立・生活支援）に充当される予定です。

また、本債券発行にあたり、「埼玉県サステナビリティファイナンス・フレームワーク」を策定し、国際資本市場協会（ICMA）が定める「サステナビリティボンドガイドライン 2021」等との適合性について、第三者機関である株式会社日本格付研究所（JCR）より、最上位評価である「SU1（F）」の評価を取得しております。

当組合は、今後もESG投資を通じて、SDGsの達成に貢献する事業を資金面からサポートし、持続可能な社会の形成に寄与すべく社会的使命・役割を果たしてまいります。

以上